

予防から診療、介護まで対応し 地域の健やかな暮らしに貢献

TMGサテライトクリニック朝霞台

首都圏の1都4県に29病院、6老健施設など合計117カ所の事業所を展開する戸田中央医科グループ(TMG・中村隆俊会長)は1日、「TMGサテライトクリニック朝霞台」をリニューアルオープンした。

同クリニックは、旧東洋大学朝霞キャンパス総合体育館跡地に今年1月1日に新築移転した「TMGあさか医療センター」(旧朝霞中央総合病院)の跡地で、腎臓内科および人工透析部門を引き継ぎ、同日に開院した。今回、一般内科と婦人科を新たに標榜するとともに、これまで「朝霞中央総合病院ドック健診センター」として実施してきた人間ドックや巡回健診なども提供する総合クリニックとして新たにスタートした。オープンに先立ち、10月13日には、地域住民向けの内覧会を実施。施設側の予想を大きく上回る667人が見学に訪れるなど、期待の大きさをうかがわせた。

特徴は、外来、人工透析、人間ドックといった医療サービスとともに、訪問看護(TMGあさか訪問看護ステーション)、居宅介護支援事業所(TMGケアプランセンターあさか)のほか、全国でも83カ所*、埼玉県内にはこれまで3カ所しかなかった、要介護重度者(要介護度4、5相当)を対象とする療養通所介護サービスを提供する事業所(TMG療養デイサービスあい)などの在宅サービス拠点を併設したことで、特に療養通所介護サービスは、これまでも行ってきた訪問看護の現場からの設置を求める声に応え、今回新たに開設されたという。全国でも稀な医療機関併設型となっていることから、急変時の対応なども迅速に行うことが可能。今後は障がい者などの受け入れも視野に入れながら、訪問看護と同様の看護ケアを通所で提供する。

また、クリニックの名前の通り、TMGあさか医療センターの「サテライト」として、共通の診察券(ID)で受診が可能。電子カルテにも互換性を持たせている。近隣に所在する新座志木中央総合病院、TMG宗岡中央病院、介護老人保健施設グリーンビレッジ朝霞台などのTMGの各施設とも連携し、周辺住民の健やかな暮らしに貢献していくという。

*平成29年介護給付費等実態調査4月分より



1日にリニューアルオープンした「TMGサテライトクリニック朝霞台」。建物の右側が医療サービスを提供するA棟、左が介護サービス事業所が入るB棟



訪問看護の現場からの声に応え新たに開設した療養通所介護サービス。今後は障がい者などへの対応を考えている



24床を備えた人工透析室。患者の血圧などが瞬時にスタッフステーションに送信されるシステムも導入



婦人科外来。医師、スタッフはすべて女性



人間ドックでの健診にはスマートフォンを活用。受診者は、専用のアプリケーションによってアテンドされ、効率的に動くことが可能だ



今後は内視鏡検査にも力を入れていくという



自力通院が困難な患者を対象に、車椅子のままでも乗降が可能な専用車両による無料の送迎も実施している